

一般社団法人アニマルパスウェイと野生生物の会 2012年度事業報告

事業期間：2012年5月7日～2013年3月31日

代表理事兼事務局長 大竹 公一



事業内容

1. アニマルパスウェイ研究会からの委託事業

- 1) 一般社団法人の設立業務：5名の発起（社員）により2012年5月7日に設立
- 2) 一般社団法人の運営基盤の作成
 - ①HPの制作：外部のHP作成サイトを利用し、5月7日の法務局への届出までにドメイン（animalpathway.com）を取得し、HP開設、その後少しずつ充実作業を実施（事務局）
 - ②PR用パンフの作成
 - a. ザ・ボディショップ ニッポン基金の助成により、一般社団法人の案内パンフレットを3000部作成し、やまねミュージアム、那須平成の森、エコプロダクツ展などで約2000部を配布（永井印刷）
 - b. 公益信託大成建設自然歴史環境基金の助成により、子供向けの絵本パンフレットを作成（栄美通信：学研のアシスト）
 - c. 会員募集
計画人数 正会員20名→19名 一般会員5名→6名 賛助会員1社→3社と計画をやや上回る会員を得た。
- 3) 公益信託や支援基金などの調査と応募
2団体より助成を受けられた。また現在1機関に助成申請中。
- 4) 自治体あるいは地域NPOへの普及活動および対応
 - a. 名古屋市のアニマルパスウェイの設計を支援（東光コンサルタンツが設計）
覚書を研究会と当会および東光コンサルタンツと締結し、指導料を当会に納入。
 - b. 那須平成の森については現地での不具合の対応、アドバイスを実施
- 5) 新たな情報についての研究会への報告
 - a. 一般社団法人で得た情報は研究会およびHP、MLなどにて報告

2. HPの制作および更新

- ・5月にオープンしたHPに適時、ニュースや資料を掲載
- ・アフィリエイトなどを付加し、寄付金を募集

3. 会の案内パンフレットの作成およびアニマルパスウェイ普及用パンフの作成事業

- 1) 会の案内パンフレットの作成：ザ・ボディショップ ニッポン基金に助成応募
2012年9月に当会案内パンフ3,000部を制作（30万円の助成）
なお、12月にザ・ボディショップ ニッポン基金に報告書提出
- 2) アニマルパスウェイ啓発パンフレットの作成：公益信託大成建設自然歴史環境基金よる助成で2013年年4月子供向けアニマルパスウェイの絵本

「ヤマネのマルくん、南の森へ」を 3000 部制作

なお、絵本の支払いは 4 月、配布先、送付先を明記して報告書を提出予定。

4. 会員募集

- ・ APW 研究会メンバーを中心に、支援層を拡大予定（本年度の会員目標 25 名）
予定の会員数は達成。

5. 名刺の作成、会員への頒布

- ・ FSC 認証紙または間伐紙等で制作、原価頒布予定：小林理事、代表理事のみ作成
- ・ 今後会員に PR してもらうため使用。必要があれば会員用を制作頒布（PR 済）
- ・ 会員証に換えることも今後検討する。

6. アニマルパスウェイ普及事業

- 1) 作成したパンフを利用し、環境省国立公園課などの後援を得て、道路管理者・鉄道事業者、道路利用者等に啓発を兼ねたアンケート調査の検討
：次年度(2013 年度の事業計画として検討)
- 2) 普及に要する資金調達のための寄付金・募金等の方法の検討
 - ① 2 回の助成金説明会に出席。いくつかの助成先への応募を実施。
 - ② 自販機を利用した啓発と寄付金募集のための仕組みをキリンビバレッジと協働して確立、3 月 15 日に松山市の岡田印刷様に設置いただいた。
(販売価格の 2% を寄付として支援いただく)

7. アニマルパスウェイ通信(ニュースレター)の発行

- ・ 毎月月末に情報を会員ならびに APW 研究会コアメンバーに提供
当会会員およびアニマルパスウェイ研究会メンバー、支援者向けに
ニュースレター「アニマルパスウェイ通信」を月末に 12 号まで発行。

8. その他

- ① 12 月 8-9 日に 13 名が参加し、那須平成の森ツアーを実施した。
- ② 道路などによる森林分断の影響に関して知見や関心のある皆様との
「アニマルパスウェイ情報交換会」を 2 ケ月に 1 回（偶数月第 3~4 水曜日）に
開催することとし、第 1 回は園田陽一氏をゲストに 2 月 20 日に実施。
- ③ 大成建設の主催するヤマネの巣箱作りをサポート

以上

2012 年の上記活動報告は監査の結果、適切であると認めます。

2013 年 4 月 15 日

監事 奥田 淳浩

